

# ハグしちゃう！ 2021

令和3年度 園長だより 7号

2学期がスタートして10日が過ぎました。始業式から数日間はまだ少し夏休みモードで行動がゆったりしていたり、お返事が返って来なかったりではありましたが、月末には幼稚園の生活にすっかり馴染んでいました！子どもの順応性は凄いな～と感じました！夏休みのカレンダーを拝見している、近郊で遊んだり、お家時間を工夫したり、コロナ禍での夏休みをあの手にこの手で楽しんでいた様子が伝わってきます。お約束もそれぞれの家庭で目的を持って決め、実行していたことが伝わっています！中でも「靴を並べる」という約束が多かったのが印象的でした。この並べるというか、整えるという行為はとても大切で日常だとお片付けに一致します。お片付けの定義は使ったものを片付けるという事と次の人の為という事の2つが重なっていると考えています。この整えるという行為は靴だけではなく、身の回りの全ての物と、心を整えることに一致します。とても素敵な約束事だと感じました。また「1日1冊本を読む」という約束も印象的でした。丁度オリンピックが開催され国旗の絵本に繋がったようで、きっかけ作りとしては大成功！でしたね。なかなかやる気スイッチが入らないな～と思うことがあるかと思いますが、きっかけやチャンスは色々な所にあります！芽が出なくても、これでもかこれでもかとチャンスの種をまいてみることで！

オリンピックや高校野球開催で色々思いながらも、スポーツから間違いなく力をもらった夏休みでもありました。また自然災害に見舞われる大変痛ましい災害もありました。私もこの地で緊急避難情報が発令されたとして、すぐに避難所に行くだろうかと考えてみましたが、やっぱりここは大丈夫だろうと過信するかな～と思いました。自分は大丈夫と思いたい心理はなかなか揺るがないものです。この心理は「危険の心理」と言われ、個人差が発生していきます。赤ちゃんは生まれ持って危険を感知していない為、成長しながら身につけていきます。これは育った環境によっても大きく違いが生まれます。例えば少し微熱があるときに、これくらいなら大丈夫と通常の生活を送る人もいれば、これは無理をしたら大変なことが起きるかもしれないと安静にする人もいます。この状況はまさに現在のコロナ状況と一致しますね。人は危険を感じたら「戦う」か「防御」のタイプに分かれるのだそうです。どちらかが良いとか悪いとかではなく、家庭の中で上手くバランスが取れていることが大切であるという事です。子どもの行動を見ていると、危険に対する行動は様々ですね！とっさに完璧に判断するなんて私にも出来る自信はありません。一番大切なことは、こんなことが起きたらこうしよう！こんな時はこうしよう！と練習する事が大切だという事です！幼稚園では火災地震の避難訓練もあります。遊びや、お散歩の中でも危険を察知する練習の意識を持っていくことが大切ですね。

パラリンピックにおいては開始直前に「私の子どもはパラリンピックにさえ出られる事がない重度障害児

です。」とおっしゃっていたお母さんがいました。私も以前に手稲の小児病院の運動会を見学させて頂いた事がありました。殆どのお子様は車いすか歩行器を利用していました。その中でも印象的だったのはベッドの上でお腹を下にして寝ているお子さんの姿でした。この時、自分に差別感情がなかったかと問われたら、間違いなくあったと思います。どの子ども生まれたことに感謝して生きていることを楽しもう！なんて簡単に言えない現実を目の当たりにしました。固形物を食べることも上を向いて眠ることも出来ない・・・でも生きている！人の命の尊さと強さを感じた、忘れられない1日でした。そして最も悲しかったことはこの子の親御さんの姿がなかったことでした。我が子に障害があったら・・・どうでしょう？ここで初めて現実の社会の偏見に直面するのでしょうか。そして母として自分は向き合っていけるのか・・・自問自答しても答えは明確に出てきませんでした。綺麗ごとでは済まされない覚悟は・・・覚悟だけはしたいなと思いました。

24時間TVの中で、第三子さんが障害を持って生まれたお母さんがインクルーシブ学童保育を運営されている様子が放送されました。我が子が直面して初めて知る事、考える事、行動する事がわかり、変化していくのだと思います。障害児と呼ばれながら日々を過ごすことが本人も家族もどんなに大変か・・・実は教え子からも学ぶことになった夏休みでした！帯広に住む教え子からの「先生、こうして！あれやって！」と言われることがどんなに嬉しくて、やる気にさせてくれたか！久しぶりに、資格を取ってみようと思心しました！私に必要な資格になるはずなので、挑戦したいと思っています！

室蘭幼稚園の子ども達をみていて、毎日がうまくいくわけではないし、苦戦する事もあるし、出来ないこともあるし、苦手なこともあるかと思いますが、元気に幼稚園に通えることがどんなに恵まれている事が再認識していきたいと感じました。トラブルの経験も大人になってからでは遅すぎます！この幼児期に何度も何度も・・・ではちょっと落ち込んでしましますが、でも実は何度も経験しておいたほうがやっぱり練習になるものです。私の尊敬する内田玲子先生は家庭が練習場！とよくおっしゃっていました！

緊急事態宣言になり、不満も言いたいし、不便も感じるし、色々言いたくなりますが、家族がいて、笑って過ごせることをもっと、もっと感謝しなければバチが当たるな！と思っています！

そしてインクルーシブ教育といいながら、なんら変わっていない室蘭の教育や人々の思考が少しでも変化していく事を願って・・・ばかりじゃダメなので、どうしようか考えています！

少し延期になりますが、子ども達が楽しみにしている運動会をご家族で全力応援していただき、頑張る姿をしっかりとご覧いただけたらと思っています！よろしくお願ひ致します。

体調確認して、ハグしちゃう！

室蘭幼稚園 園長 小倉真弓美